

中部縦貫自動車道整備促進

# 提 言 書

平成20年11月21日

中部縦貫自動車道建設促進福井県協議会

# 提 言

全国の高規格幹線道路網の一翼を担う中部縦貫自動車道は、北陸圏と首都圏を最短ルートで結び、中部内陸沿線地域の一体的な発展を図る上で国家的見地から極めて重要な役割を担うものである。また、福井県にとっても大都市圏との交流や地域連携の強化を促進し、経済成長による地域の自立を促すほか、災害時の緊急輸送・救急医療活動の支援や冬季における交通の確保を図る上で欠くことのできない「真に必要な道路」である。

また、地方の基幹的道路においては、住民の安全・安心な生活の確保を図るため、交通事故対策や防災対策などの道路整備も必要となっている。

このため、次の事項を実現するよう、強く提言する。

- 一 大野油坂道路について、一日も早く事業着手の決定を行い、今後10年～15年での全線開通を図ること。特に線形不良等の現道状況の厳しい富田地区から和泉地区にかけての区間を優先的に事業着手すること。
- 一 永平寺大野道路の整備を促進し、遅くとも平成28年度までの全線開通を図ること。

- 一 中部縦貫自動車道など、国土の骨格を形成する高規格幹線道路網の整備を国の責任で着実に進める上での安定的かつ十分な財源を確保するため、適切な措置を講じること。
  
- 一 平成21年度政府予算においても、所要の建設予算を確保すること。

平成20年11月21日

中部縦貫自動車道建設促進福井県協議会

会 長 福井県知事

西川一誠

# 中部縦貫自動車道概要図

位置図

